

第31回全国私立大学教育研究集会 開催要項

2020年8月3日

日本私大教連
(日本私立大学教職員組合連合)

すでにご案内のとおり、日本私大教連中央執行委員会は、新型コロナウイルスの感染拡大状況に鑑み、第31回全国私立大学教育研究集会(全国私大教研)を、Zoomのウェビナーを利用した、初のオンライン形式で開催することといたしました。

今回の私大教研では、新型コロナ感染拡大により浮き彫りになった諸問題に焦点を当てた4つのセッションを設けました。また、各地区私大教連からの要望とオンライン開催の利点を踏まえ、参加者全員がすべてのセッションに参加できるよう、セッション数と時間をしばって配置しています。

全体集会の記念講演では、前川喜平氏(元文部科学事務次官)を招き、政府や文科省の高等教育政策立案過程における私立大学の位置づけや、今後求められるであろう取り組みを中心に、政府が引き起こしている諸問題の実相と打開の方向などについてお話しいただく予定です。また基調報告では、コロナ危機とも言うべき状況で浮き彫りになった私立大学生・私立大学をめぐる政策の構造的問題と日本私大教連の政策活動と課題を整理し、今後の取り組みの方向を提起します。

移動することなくどこからでも参加可能なオンラインの利点を活かして、ぜひ多くの組合員のみなさんにご参加いただくようお願いいたします。

I 開催日程等

1. 名称 第31回全国私立大学教育研究集会(略称:全国私大教研)
2. 開催日 2020年8月29日(土)・30日(日)
3. 主催 日本私大教連(日本私立大学教職員組合連合)
4. 日程 8月29日(土) 10:00~12:00 第1セッション
13:00~15:00 第2セッション
15:15~17:15 第3セッション

8月30日(日) 10:00~12:00 第4セッション

13:00~16:00 全体集会(記念講演・基調報告)

※記念講演講師のご都合により変則的なスケジュールになっております。

5. 参加費 加盟組合員：1人2,000円(通常1人6,000円)
未加盟組合員：1人5,000円(通常、参加費1人6,000円に加え、未加盟組合分担金として「組合員実数×200円」を徴収していますが、今回は未加盟組合分担金を徴収しません。)

III 参加申込、参加費等の納入の方法

A 全国私大教研の参加申し込み方法

1. 申し込みは、別紙の「参加申込書」「参加組合の概要」の提出をもって受け付けます。
2. 必要事項を漏れなく記入し、申し込み締切日までにご所属の地区・県組織にお申し込み下さい。
※参加申込書は極力Wordで入力しE-mail添付でご提出ください。
※今回はZOOMへの事前登録が必要になりますので、参加の際にご使用になるPC・タブレット・スマートフォン等に確実に届くメールアドレスの記入が必須となります。
※日本私大教連書記局からのメールが迷惑メールに振り分けられないよう、事前にメールアドレス info@jfpu.org をご登録いただくことをお勧めします。
※各地区・県組織は、単組から届いた参加申込書を順次日本私大教連書記局に送付してください。
3. 所属地区・県組織のない直接加盟単組は、日本私大教連へお申し込み下さい。
4. 参加申し込み締め切りは8月23日(日)です。

B ZOOMウェビナーの参加方法

1. 第31回全国私大教研ウェビナーは事前登録制です。
2. 参加申込をされた方には8月25日(火)までに「第31回全国私大教研ウェビナー招待メール」が届きますので、記載のURLから「事前登録」して下さい。
※「招待メール」には、教研集会の予稿集を添付しますので、ご確認ください。
※「招待メール」が8月25日(火)までに届かない場合は、日本私大教連書記局に電話かE-mailでお問い合わせください(TEL 03-5285-7243、E-mail info@jfpu.org)。
3. 登録が完了すると「確認メール」が届きます。また、集会1日前の8月28日および当日29日午前9時には、「リマインド」メールが届きます。
4. これらのメールに記載の「ここをクリックして参加」リンクから、ZOOM会場に入場できます。

C 参加費の納入方法

1. 地区・県組織に加盟している組合は、申込書類の提出とあわせて上記費用を加盟している地区・県組織に事前にお支払ください(詳細は各地区・県組織からの案内をご参照ください)。

地区・県組織のない直接加盟の組合は日本私大教連の下記口座にお振込みください。

2. 各地区・県組織は上記費用を取りまとめて、下記口座にお振込みください。

振込先＝中央労働金庫池袋支店 普通 7579496 日本私立大学教職員組合連合

※組合費の納入口座とは別口座ですのでお間違えのないようお願いいたします。

IV セッションのテーマと企画概要

第1セッション 私大生の修学困難とのたたかいと私大助成運動のあり方を考える

(29日 10:00～12:00)

コロナ禍による生活・修学困難が私大生を苦しめています。それは私立大学軽視政策に根本的な原因があり、私立・国立間の格差解消（特に、私立大学への補助の大幅な引き上げ）なしには、私大生の修学機会の確保と教育の充実は実現されません。こうしたなかで、政府に学費一律半額免除（補助）を求めて私大生たちが立ち上がったことは画期的です。学生たちの現状や取り組みの報告と各単組からのレポートを元に、私大助成運動の方向性やあり方について考えます。

第2セッション オンライン授業とこれからの教育を考える

(29日 13:00～15:00)

新型コロナウイルス感染症の拡大を機にオンライン授業が全国の大学で導入されました。緊急導入されたオンライン授業には、(1) 学生のICT環境不足、(2) 教員のオンライン授業への対応力、(3) 成績評価と質保証、などの多くの課題も浮き彫りになってきています。本セッションでは、オンライン授業の運営を通じて見えてきた課題等を検討し、質の高いオンライン教育の在り方について交流したいと思います。

第3セッション コロナ禍のもとで組合活動をいかに行っていくたらよいかを考える

(29日 15:15～17:15)

昨今の爆発的な新型コロナ感染拡大のもと、大学では学内閉鎖や規制、遠隔授業や会議、テレワークの拡大などにより、従来の組合活動が厳しい状況に晒されています。このようななかで、創意工夫で組合活動を行っている組合から学び・交流し、コロナ禍の組合活動をともに考えていくセッションにしましょう！

第4セッション 職員の働き方をめぐる新たな課題と取り組みを考える

(30日 10:00～12:00)

政府の「働き方改革」により、年次有給休暇の取得義務化や同一労働・同一賃金の導入などの課題が生じた上に、コロナ禍によるテレワークの導入や、感染拡大防止に関する新たな業務の発生をめぐり、新たな諸問題・諸課題が発生しています。アンケート結果とレポートをもとに、職員の働き方をめぐる新たな課題と取り組みを考えます。

V セッションのレポート提出等について

1. レポートの募集について

今回のセッションは各2時間の枠で設定しているため、レポートの公募は行わず、各地区私大教連等を通じてレポートを依頼します。

2. レポートの提出について

(1) 予稿集掲載分について

事前配布する予稿集に掲載する、報告概要（レジюме）をご提出ください。

①分量は、A4サイズで2ページ以内とします。

②各ページの余白は上下左右とも25mmに設定してください。

③原稿の提出期限は**8月23日（日）まで**とします。Word形式で保存したファイルを日本私大教連書記局へE-mail添付でご提出ください（アドレス：info@jfpu.org）。

(2) 当日の報告で予稿集掲載以外のデータをご利用になる場合

①予稿集に掲載の報告概要とは別に、当日報告用のデータ（パワーポイントなど）や関連資料を用意いただける場合は、**8月27日（木）まで**に日本私大教連書記局にご提出ください。

②報告される方は一般参加者とは異なる「パネリスト」としてZOOMに登録します。報告の際に「画面共有」する権限を付与しますので、ご自身で報告データを操作することが可能です。

※集会事務局による操作をご希望される場合は、データ提出の際にその旨を明記ください。

③1レポートの報告時間はセッションによって異なります。レポート依頼の際にお願いした報告時間の厳守にご協力ください。